

平成18年10月30日

各位

アイフル株式会社
 代表取締役社長 福田 吉孝
 (コード番号 8 5 1 5)
 (上場取引所 東証第1部・大証第1部)
 問い合わせ先 広報部長 香山健一
 TEL 03-4503-6050(広報部)
 03-4503-6100(IR室)

中間期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成18年10月30日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年5月16日の決算発表日に公表した平成19年3月中間期(平成18年4月1日~平成18年9月30日)の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中間期の業績予想の修正(平成18年4月1日~平成18年9月30日)

(1) 連結

(単位:百万円、%)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	274,232	42,360	22,870
今回修正予想(B)	262,283	28,115	179,564
増減額(B-A)	11,948	14,244	202,434
増減率(%)	4.4	33.6	-
(ご参考)前年同期実績 (平成18年3月期中間期)	272,802	75,757	44,210

(2) 個別

	営業収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	166,485	29,231	16,930
今回修正予想(B)	159,524	22,283	159,647
増減額(B-A)	6,960	6,947	176,577
増減率(%)	4.2	23.8	-
(ご参考)前年同期実績 (平成18年3月期中間期)	172,607	59,663	35,569

2. 業績予想修正の理由

(1) 個別業績予想の修正について

当社は、最近の業績の動向や社会情勢等から営業貸付金利息が当初計画を下回る一方、利息返還金が増加しております。このような環境下にくわえ、日本公認会計士協会から「消費者金融会社等の利息返還請求による損失に係る引当金の計上に関する監査上の取扱い」が平成18年10月13日に公表されたことに伴い、利息返還損失引当金79,757百万円、貸倒引当金120,609百万円を計上しました。また、貸金業法改正の方向性に鑑み、繰延税金資産の見直しを行いました。

以上により、中間期業績予想を修正させていただくこととなりました。

(2) 連結業績予想の修正について

個別業績予想の修正に伴い、連結営業収益、経常利益、当期純利益とも業績予想を下方修正することとなりました。なお、日本公認会計士協会から「消費者金融会社等の利息返還請求による損失に係る引当金の計上に関する監査上の取扱い」が平成18年10月13日に公表されたことに伴う連結ベースでの利息返還損失引当金は、98,755百万円、同貸倒引当金は129,367百万円であります。

3. 配当予想について

中間配当金につきましては、変更する予定はございません。

なお上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づく将来の見通しであり、最終の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

また、通期業績予想につきましては、中間決算発表時に発表いたします。

以 上